



新生児聴覚スクリーニング 自動 ABR 検査装置

MB11 クラシック

新生児聴覚スクリーニング検査装置「MB11 クラシック」は、 短時間で簡単に自動 ABR 検査を実施できます。

主な特長

- CE-Chirp 刺激音を搭載した自動ABR検査
- 両耳同時測定が可能
- 検査結果は「パス」／「要再検査」の簡潔表示
- 電極インピーダンスの自動測定機能で検査に適切な電極抵抗値と反応品質を確保

刺激音にCE-Chirp 音を採用

CE-Chirp 音は蝸牛内のすべての部位を同時に刺激するため、従来のクリック音に比べてより大きな反応が得られるようになりました。また、独自の反応検出アルゴリズムにより反応検出の時間が短縮され、検出精度も向上しました。刺激レベル35dB nHLでは片耳で最短約15秒^{※1 ※2}で検査を実施できます。

※1：検査時間は検査の条件や環境により異なります。

※2：参考文献：Cebulla, M., & Shehata-Dieler, W. (2012). ABR-based newborn hearing screening with MB11 BERAphone® using an optimized chirp for acoustical stimulation. International Journal of Pediatric Otorhinolaryngology, 76(4), 536-543.

両耳同時に検査可能

MB11クラシックを使用する大きな利点は、3極の電極で検査することで両耳同時に自動ABR検査を実現できることです。効率よく、短時間で検査を実施できます。

検査準備も扱いも簡単

専用の使い捨て乳幼児用イヤカップと電極によって検査の準備時間が最小限に抑えられ、音刺激を呈示するための適切な検査条件が整います。乳幼児用イヤカップは、透明のため適切な耳の位置に装着することが可能です。

製品構成（本体・付属品）



交換用部品・消耗品

交換用部品：電極ケーブル、イヤカップ用チューブ、イヤカップアダプター
消耗品：イヤカップセット（イヤカップ+電極）、イヤカップ、電極、Nuprep® 研磨剤、ラベルロール紙

*本製品専用の交換部品・消耗品のみ使用してください。

ウェブサイトからも製品仕様の詳細をご確認いただけます。

日本語：www.diatec-diagnostics.jp

英語：www.maico-diagnostics.com



MAICO Diagnostics GmbH
www.maico-diagnostics.com

一般の名称：聴覚誘発反応測定装置

販売名：自動ABR MB11

医療機器認証番号：301AIBZX00004000

医療機器分類：管理医療機器（クラスII）

仕様

本体仕様

全体重量
290 g（MB11本体+プリアンプ+本体ケーブル）

寸法

MB11本体 120 mm x 93 mm x 30 mm
プリアンプ 100 mm x 100 mm x 22mm
本体ケーブル長 187 cm

データインターフェース

PC接続

接続端子

USB

電源

電源供給 約310 mA

自動ABR仕様

チャンネル数 1
刺激音 CE-Chirp
刺激頻度 左 88 Hz、右 93 Hz
呈示レベル 35dB nHL
検査モード 両耳、片耳
検査結果表示 パス/要再検査/中断
印刷 ラベル印刷

全般

規格

IEC 60601-1 + A1, Class II, Type BF

IEC 60601-2-40

IEC 60645-7, Type 2

標準構成品

MB11本体、プリアンプ、電極ケーブル、インサートイヤホン（IP30）、イヤカップ、電極、Nuprep® 研磨剤、USBケーブル、ノートPC、MB11ソフトウェア、専用ラベルプリンター（DYMO）、ラベルロール紙、プリンター用電源アダプター、プリンター用USBケーブル、専用キャリーケース



デマント・ジャパン 株式会社
ダイアテックカンパニー

〒212-0013

神奈川県川崎市幸区堀川町580番地 ソリッドスクエア西館16階

Tel 044-543-0630

Fax: 044-543-0631

info@diatec-japan.com www.diatec-diagnostics.jp